

フォトコンテスト審査会

と き 平成 28 年 10 月 6 日 (木) 16:00 ~ 16:45

ところ 山口県医師会 6 階会議室

[報告: 常任理事 今村 孝子]

対外広報事業として、「いのち きずな やさしさ」をテーマにしたフォトコンテストを今年度も開催した。7 回目となる今回も山口県内にとどまらず全国各地から 60 名、147 作品のご応募をいただいた。

今回も審査委員長として、平成 27 年 3 月に写真集『結界』で第 34 回土門拳賞を受賞された萩市在住の写真家・下瀬信雄 氏を迎え、審査員を河村康明 会長、吉本正博 副会長、そして広報委員の堀 哲二 先生、渡邊恵幸 先生、長谷川奈津江 先生、岸本千種 先生、石田 健 先生にお願いした。

審査会当日、会議室に並べられたすべての作品を見てみると、見る人を明るくさせ、心を癒してくれる写真ばかりであった。この中から、最優秀賞、優秀賞、下瀬信雄賞を各 1 点と佳作 5 点の計 8 点の選考を開始した。

審査方法は例年同様、各審査員に付箋を 8 枚ずつ配付し、各自が気に入った作品に貼るというものである。各審査員はそれぞれの感性を活かして、真剣な面持ちで次々に付箋を貼り付けていった。第一次審査では、147 作品の中から約 40 作品が選ばれた。力作揃いで、下瀬審査委員長によると年々レベルが上がっており、“甲乙つけがたい”とのことである。選ばれた作品を集め、各審査員が今度は付箋を 5 枚ずつ貼っていき、その後、



下瀬審査委員長の進行のもと、審査員の協議により審査が進められた。被写体の表情、構図、光の使い方だけでなく、それらを通して伝わる撮影者の「伝えたいメッセージ」がわかる、あるいは「発見」、「感動」がはっきり出ている作品が審査員の心を捉えたようである。審査開始から約 40 分後、最優秀賞、優秀賞、下瀬信雄賞、佳作 5 点の各受賞作品が決定した。

なお、受賞作品については 11 月 13 日 (日) に開催した県民公開講座 (次頁) にて表彰式を行い、下瀬審査委員長による講評も行っていただいた。また、応募いただいたすべての作品展示も同時に開催した。

ご応募いただいた皆さま、審査員の皆さまに深く感謝いたします。

